

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○子どもたち一人ひとりに向き合い、「ひと」や「まち」とのかかわりを大切にした、活力と魅力あふれる学校づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の関わり合いと認め合いを育む学習活動を展開します。 ・特別支援教育の視点を大切に、問題解決学習型の授業づくりに取組み、進んで問題を解決していく意欲を高めていきます。 ・家庭・地域・関係諸機関との連携をより一層強め、子どもの心に自尊感情・自己有用感を高めるように取り組んでいきます。 ・楽しみながら学べる体育学習の充実を図ります。 ・全教職員が互いに学びあい、啓発し合って自らの力を磨いていく学校づくりを進めます。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>豊かな心</p> <p>児童指導・特別支援教育委員会 研究・研修委員会 道徳部</p>	<p>挨拶やふれあいタイム等の豊かな体験活動で培った問題意識をいかした道徳の授業改善を進め、教職員の授業力の向上と、自分や他者を認める心の育成を目指す。</p>	<p>① 自らあいさつができるよう子ども達の意識の向上を図り、実際に声を出してあいさつができるようにしていく。</p> <p>② 花いっぱい活動、ボランティア清掃、稲作活動などへの児童の主体的な参加を大切にし、人と人との豊かなかかわりの中で思いやりの心を育てる。</p> <p>③ 今年度も道徳を重点研究として取り上げ、道徳授業力向上に努める。年1回道徳の授業公開を全学級で行うとともに、授業を通して、自ら課題を立て自分のあり方を振り返り、友だちを認める心を育成する。</p>

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

大規模校であり、一人ひとりにはとても素晴らしい力があるが、子ども同士の交流ができにくい。交流する機会をたくさん設けるが、どうしても深まりに欠ける面がある。コミュニケーション力に欠け、相手を認め思いやる言動が取れない子がいる。少しずつ改善はみられるが、あいさつを自分から進んでできる子をさらに増やしたい。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・本年度も、重点研究で取り上げ、道徳授業力向上推進校にもなっている。低中高学年ブロックでの研究を中心に、一人ひとりの教師の授業力向上を目指す。全学級の道徳授業公開を年一回以上行う。 【視点1】
- ・読み物教材の充実、提示資料等の工夫を図り、自分のあり方を振り返り、友だちを認める心を育てる楽しく学べる道徳の授業を行う。 【視点2】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・挨拶を大切に扱い、地域の方たちと関わる日々の教育活動を通して、自己肯定感や有用感、人権の大切さや思いやりの心を育む。年1回の地域と4校ブロックの子どもたちとの話し合いの中でまちとのつながりをもって生きていく心を育てる。 【視点3】
- ・人権週間を通して人権意識の向上を図る。 【視点6】
- ・全校遠足や1年生を迎える会、運動会、交歓給食など異学年縦割り活動を通じた心の教育実践し、いじめを許さない・いじめのない学校を目指す。 【視点7】